

平成29・30年度 栃木県PTA連合会委嘱

研究PTA研究紀要

研究主題

みんなが笑顔 ～楽しいPTA活動～



大田原市立大田原小学校PTA

研究PTA活動ありがとうございます

栃木県PTA連合会長 金田 淳

大田原市立大田原小学校の皆様には、本栃木県PTA連合会に対しご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。また、日頃からのPTA活動の積極的な取組に対して深く敬意を表しますとともに、本会より委嘱をしました「研究PTA」の2年間にわたる研究活動にご尽力いただき誠にありがとうございました。その成果といたしまして、このたび「研究紀要」を発行いただきましたことに重ねてお礼を申し上げます。

さて、研究PTAは昭和25年「実験PTA」として始まり、昭和54年より「研究PTA」と改称して現在に至っております。当初は会員・役員などの組織、構成などについての研究テーマがたくさんありましたが、時代の推移とともに校外生活指導・人権教育・交通問題・道德教育・国際交流・生涯学習・家庭教育・地域連携など様々な視点からその時代に合った課題を取り上げています。

現在の学習指導要領では「生きる力」を育む教育が行われていますが、それを推進するためには家庭・学校・地域の連携が不可欠であり、私たちPTAの基本理念でもあります「教育の原点は家庭にある」がとても大切になってきます。

そのような中で貴校では、子どもたちの健全育成のためこれまでのPTA活動を改めて振り返り、学校と家庭、地域社会を結ぶ懸け橋としての活動を考えながら、情報の発信、情報交換・提供の場の設定、学習機会の設定など「共育」を目指しておられました。学校運営のキーワードを教職員に留めることなく、子どもたち・保護者・地域まで共有され、さらに共育まで進められた2年間の取組は、今後の学校教育、PTA活動に大きな足跡となったと確信いたします。学校教育と社会教育を通して子どもたちの健全育成のために研究が今後も継続して発展されますようさらなるご活躍をご祈念いたします。

本会は、子どもたちのために7地区25市町のPTA連合会・協議会に所属する13万7千余名の会員の皆様とともに、さまざまな課題や事業に積極的に活動してまいりますので、今後も引き続きご協力をお願いいたします。

結びに、2年間にわたりご指導とご協力を賜りました栃木県教育委員会、那須教育事務所、大田原市教育委員会をはじめ関係機関の皆様にも心より感謝申し上げ、お礼のことばといたします。

あ い さ つ

大田原市PTA協議会 会長 植 田 賢 司

(大田原市立大田原小学校PTA会長)

平成29年度・平成30年度「研究PTA」として大田原小学校PTAが、栃木県PTA連合会の委嘱を受けてから、研究紀要の作成に向けて研究主題の検討や内容の精査を重ねて参りましたが、校長先生をはじめ多くの先生方、そして多くのPTA会員の皆様の御協力と御理解をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、「研究PTA」の研究主題については、「何を主眼において進めていくか」思案してきましたが、ヒントは大田原小学校の歴史と伝統、そして地域が創り上げてきた歴史的そして伝統的な地域行事にありました。

大田原小学校は、明治6年12月に大田原学校として開校し、昭和22年4月に現在と同じ大田原小学校と改称され、平成30年時点では創立145年を迎え、運営方針は、「夢・礼儀・誇りそして笑顔」となっております。また、大田原小学校のPTAは、昭和23年に設立され、70年近くの歴史を誇ります。

一方、私たちが住んでいる地域は、大田原藩主が治めていた城下町であることから、大田原小学校区は、商業の中心地として栄えたこともあり、歴史的・伝統的な地域行事がたくさんあります。かつては、県北地域の「へそ」とも言われた金燈籠交差点周辺地区を中心に展開される「屋台まつり」や大田原神社の「八雲祭」や「例大祭」などが具体的なものとしてあげられます。

今回、研究主題となった「みんなが笑顔～楽しいPTA活動～」は、学校行事に参加する子どもたち、また地域行事に楽しく参加する子どもたちと地域の方々の「笑顔」からヒントをもらい、先生方保護者、子どもたちが「みんなが笑顔」になるような「楽しいPTA活動」について考えることになりました。

結論としては、PTA活動を「笑顔」の仕掛けづくりとして実践することで、「子どもたち」・「保護者」・「教職員」そして「地域」に「笑顔」があふれ、ともに共育することができると考えました。そして、最終的には子どもたちが、たくさんの笑顔の中で幸せに育ち、やがて大人になったときに、この地域で育ったことを誇りに思い、この地域を支える人になってほしいと願うことにもなりました。

近年、子どもたちを取り巻く環境は、社会情勢の変化や情報化社会の急速な進化に伴い、さまざまな課題に直面しております。全国的には、子どもたちが巻き込まれる予測不能な事故や事件が多数あり、後を絶ちません。このような事態は、学校関係者や私たち保護者にとっても他人事では済まされません。子どもたちの健やかな成長を願い、また子どもたちが希望に満ちあふれた未来を切り開くために、保護者（家庭）として、学校として、地域として「出来ること」をこの機会に再確認することができました。この度は、このような機会をいただき、ありがとうございます。

結びに、御尽力をいただいた栃木県PTA連合会関係者および会員の皆様にお礼申し上げますとともに、ますますの御健勝、御多幸を祈念申し上げ、御挨拶といたします。



あ い さ つ

大田原市立大田原小学校長 深澤 弥之

大田原小学校は、明治6年(1873年)に「大田原学校」として開校し、145年を迎えた長い歴史と伝統のある、地域住民からの思い入れの強い学校です。

明治26年に現在の場所に移り、平成28年12月に管理・教室棟が完成し、翌年12月に教室棟の改修が終了し、現在の姿になりました。

これまで、本校は開校当時から栃木県北の教育の中心的存在でした。特に、各種研究会や会議が本校会場で行われ、教育に関する数々の研究学校や実験学校にも指定されるなど、それぞれの研究で成果を上げてきた歴史があります。平成12年度から平成25年まで2か年単位で大田原市教育委員会から指定され、学習指導の研究を継続し研究の成果を公開し、那須地区教育の発展に大きく貢献してきました。平成29年4月には、大田原市教育委員会から小中一貫教育のモデル校の指定を受け、同年7月に公開研究発表を行いました。

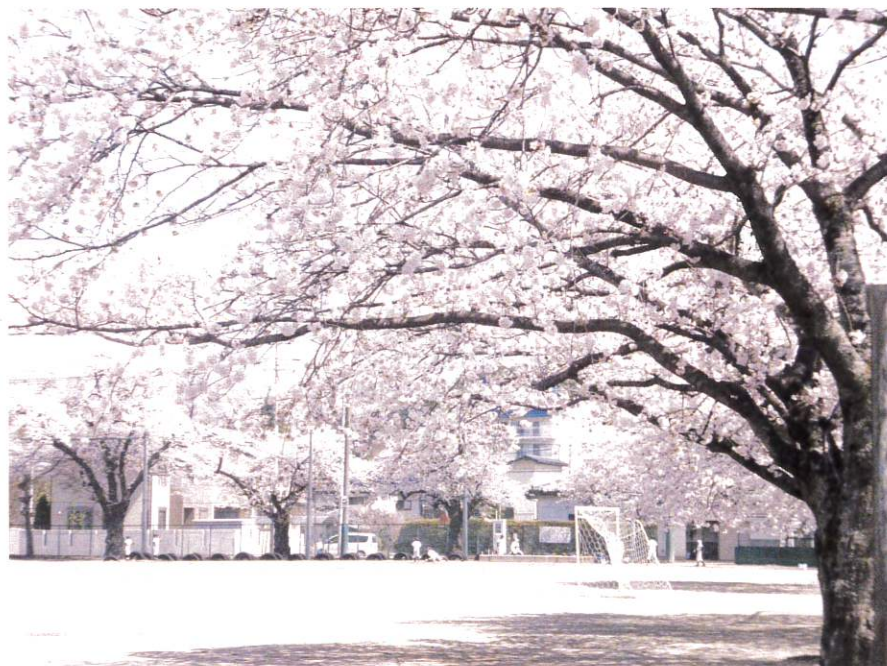
さて、本校PTAは昭和23年設立以来、本校の教育活動のために協力を惜しまず、学校とともに子供たちの教育活動に携わってきました。

この度、栃木県PTA連合会から平成29年度・30年度「研究PTA」の指定を受け、その活動内容と成果をまとめることとなりました。研究主題を「みんなが笑顔～楽しいPTA活動～」として、会長を中心に2年間研究に取り組んできました。その間、管理教室棟の新築や教室棟の改修も行われ、多くのPTA会員の協力により、工事が予定どおり安全に完了することもできました。子供たちの笑顔を目指して、PTA会長を中心としてその研究を実践し、ここにその研究の成果をまとめていただきました。

研究PTAとして2年に渡り研究を進めてきましたが、改めて親子のふれあいの大切さ、教育の大切さを痛感するなど、大きな成果をあげることができました。

結びに、研究PTAという貴重な機会を与えていただき、御指導いただきました県PTA連合会、県教育委員会、那須教育事務所、そして大田原市教育委員会の皆様に心から感謝申し上げ、あいさつといたします。

I 地域・PTA・学校の概要



I 地域・PTA・学校の概要

1 地域の概要

大田原市は栃木県の北東部に位置する。松尾芭蕉「奥の細道」と縁の深い地域として知られている。市の中央を流れる那珂川や八溝山系の里山など、自然豊かな地域である。雲岩寺、なかがわ水遊園など、観光資源も多い。また、栃木県の県北の商業都市でもある。



学区は中心に大田原城の城下町を含み、栃木県北の文化、産業、行政の中心、流通の要衝である。時代の変遷とともに旧城下町の通りは商店街として発展・変化した。城跡をはじめとする史跡、城下に開かれた寺社などの旧来の建造物と新進の物が共存し、歴史と伝統を反映する「屋台まつり」「与一まつり」が行われる、県北では随一の文化の香り高い街である。

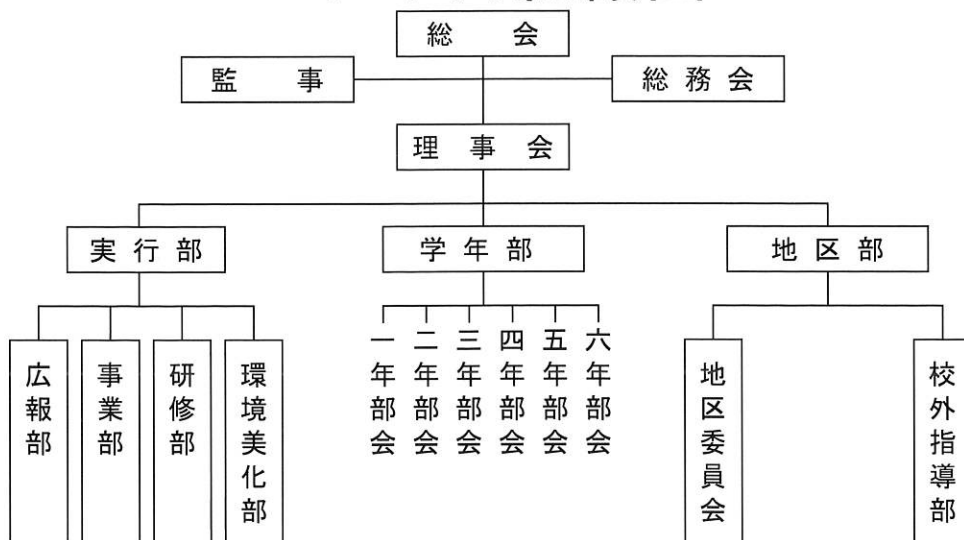
2 PTAの概要

平成30年度の児童数は606名、PTA会員数は498名（保護者464名、教職員34名）である。

組織は、PTA会長1名、副会長5名の総務部を中心として、実行部は、広報部、事業部、研修部、環境美化部の4部会、学年部は、1～6学年部会の6部会、地区部は、地区委員会と校外指導部の2部会で編成している。理事会は、総務部6名の他、会計1名、書記1名、監事2名、実行部長4名、地区部長2名、学年部長6名、そして学校代表者で組織している。

それぞれの部で自主的に各事業を実施し、学校行事等に率先して協力し、支援活動を行っている。

PTA組織図



3 学校の概要

大田原小学校の開校は明治6年（1873年）である。本年度で146周年を迎えた歴史と伝統を誇る市内の中心校である。平成30年度現在、児童数606名、普通学級19、特別支援学級4の計23学級、教職員数54名の中規模校である。

校訓 「自立と共生」

学校教育目標 「学び合う子ども、助け合う子ども、高め合う子ども」

スローガン 「夢」「礼儀」「誇り」そして「笑顔」
(28～30年度)



校章

学校の沿革

- 明 6.12 那須郡大田原宿145番地に校舎を建設し大田原学校と称し開校
 23. 8 大田原尋常小学校と改称する
 26. 1 大田原尋常高等小学校と改称する
 昭 2 校歌制定「君の恵みの大田原」
 10.11 第6校舎を新築（現在の木造校舎）
 16. 1 大田原町立国民学校と改称する
 22. 4 大田原小学校と改称する
 28. 8 創立80周年記念事業（プール建設）
 31. 9 西原小新設により一部分離
 32. 8 紫塚小新設により一部分離
 35. 3 鉄筋3階校舎建設
 36. 2 管理棟完成
 37. 3 校歌・校章制定「那須の大空雲晴れて」
 38. 1 校旗樹立
 39.12 給食室新築
 44.11 学校給食優良校表彰（文部大臣）
 48. 4 言語教室・在宅訪問学級開設
 48.11 創立百周年記念事業（フラスバンド・記念誌・児童像建設）
 52. 2 屋内運動場新築
 52. 3 管理棟2階増築
 56. 7 プール新設
 59. 3 給食室南側増築及び印刷室新築
 59.11 放送室新設、校内TV放送開始
 59.12 創立111周年記念事業（同窓会より校旗新調）
 60. 8 第2回関東少女ソフトボール大会準優勝
 62.10 児童指導公開研究発表会（県教委）
 平元. 6 優良学校表彰（県教委）
 2. 4 科学技術庁長官賞
 3. 2 優良学校表彰（栃木新聞社）
 7. 4 研究学校指定を受ける（市教委）
 8. 2 健康推進学校優秀校表彰（県教委）
 8. 4 コンピュータ教室設置（視聴覚室改修）
 11. 4 高齢者福祉教育研究推進校指定を受ける（県教委）
 11.11 公開研究発表「ゆとりある教育活動推進校」（県・市教委）
 12. 3 全天候型ソーラー屋外時計設置（同窓会）
 12. 4 研究学校指定（学習指導）を受ける（市教委）
 12. 6 優良学校表彰を受ける。（県教委）
 13. 4 情緒障害特殊学級設置
 13. 4 次世代ITを活用した未来型教育研究開発校（文科省）
 13. 8 第15回全日本小学生男女ソフトボール大会出場
 14. 1 光ファイバーケーブル開通
 14. 2 学習指導公開研究発表「主体的な学びを求めて」（市教委）
 14. 4 聴覚障害特殊学級設置
 14.11 栃小教研算数科研究大会那須大会授業公開
 15. 9 創立130周年記念「炬火台」設置
 15.11 公開研究発表会「学習指導」（市教委）、「IT活用」（文科省）
 16. 4 学校二学期制、学校評議員制度導入
 17.12 学習指導公開授業研究会（市教委）
 18. 3 地域イントラネット敷設
 19. 8 ソフトボール部関東大会出場、コンピュータ教室ハード入替
 20. 2 前校舎1階東手摺設置、体育館スロープ設置、耐震化診断
 20. 8 子供自転車大会全国大会出場 ジャングルジム設置
 21. 8 耐震化工事、ブランコ設置、子供自転車大会全国大会3位
 22. 4 教職員用パソコン配備
 23. 3 圧送式ポンプ設置、教室・特別教室の配置換え（東日本大震災のため）
 23. 8 子供自転車大会全国大会出場
 23. 4 平成23・24年度 学力向上実践研究学校指定（文科省・県教委・市教委）
 23.11 学力向上実践研究公開授業研究会（文科省・県教委・市教委）
 24. 2 ブラスバンド部東日本大会出場
 24. 9 屋内運動場耐震化工事（～25.1）
 25.11 学習指導公開授業研究会（市教委）
 25.12 創立140周年記念事業（航空写真撮影・テント購入）プール改修工事（～26.1）
 26. 4 大田原小学校建設検討委員会が校舎改築の基本構想について
 市教育委員会に答申
 26.10 優良学校表彰（県教委）
 27. 7 木造校舎解体作業・新校舎建築開始
 28. 2 下野美術展栃小教研図画工作部会長賞受賞
 29. 1 管理教室等増改築落成式
 30. 2 ブラスバンド部東日本大会出場
 30. 3 教室棟大規模改修工事完了 中庭・外溝工事、校庭整備完了
 30. 4 研究PTA指定（29・30年度）（県PTA連合会）
 30. 7 研究PTA那須地区指導者研修会中間発表
 30.10 体育倉庫設置
 31. 1 ブラスバンド部東北小学校バンドフェスティバル出場



ICTを活用した授業



ブラスバンド部



おしろ山でのクリーンハイク



春季大運動会



若草中との合同宿泊学習



地域の方とみどりの活動

Ⅱ 研究の概要



II 研究の概要

1 研究主題

みんなが笑顔 ～楽しいPTA活動～

2 研究主題設定の理由（研究の方針）

「PTA」とは、「Parent-Teacher Association」である。この名称の示すとおり、PTAは「親と教師で構成され、両者が対等の立場で学習し、自己を高めていく団体」である。

現在、社会構造の変化に伴い、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化してきている。情報の高度化、多量化、少子化等の面で大きく変化し、一方で家庭や人と人の結びつきの強かった地域社会の教育力の低下が指摘されている。その社会の中で子どもたちの安全を守る、学校と地域がともに子どもを育むという観点から、学校と家庭、地域社会を結ぶ懸け橋として、PTA活動への期待が大きいと言える。子どもたちを健全に育むためには、PTA活動の一層の活性化が不可欠となる。

しかし、PTAの目的がよく分からない、活動の段階で発生する物理的な負荷や、フルタイムで働いているなど忙しいなかでの活動の難しさ、役員以外の方々の協力の乏しさ、毎年、PTA役員改選には多くの時間を費やす等、PTA活動の課題が山積してきている。

そこで、昭和23年からすでに70年近くの歴史を誇る本校の保護者、教職員、地域社会の連携をここで改めて確認するとともに、だれもが目的をもち、意欲的に活動できる「楽しいPTA活動」の在り方、PTA活動の未来の目的を探ることにした。

そうすることで、本校の学校運営のキーワードである「夢・礼儀・誇りそして笑顔」について、子どもたち、保護者、教職員、そして地域社会が共有し、共有することができると考える。

子どもたちが、みんな笑顔の中で幸せに育ち、やがて大人になったときこの地域で育ったことを誇りに思い、この地域を支える人材となることを願い研究主題を設定した。

3 研究の方針

本研究は、親と教師が子どもたちを健全に育むために、どのようにPTA活動を活性化していくかを探る。また、今後、学校と家庭、地域社会を結ぶ架け橋としてのPTA活動はどうあるべきかを考えていく。現在までの活動を振り返ることで、それを実現していく。

4 研究の内容

(1) これまでのPTA活動を振り返ることでPTA活動の本来の目的を見つめ直す。

- ・PTA活動組織を再確認する。
- ・PTA活動各部のねらいと主な活動を振り返る。

(2) PTA活動の現状と課題を探る。

- ・各部での成果を再確認する。
- ・各部の課題を探る。
- ・次年度の活動に生かす改善点を探る。

(3) PTAの果たすべき活動とは何なのか、どのような活動が求められているのかを探り、諸活動を実践する。

5 研究の計画

(1) これまでのPTA活動を振り返ることでPTA活動の本来の目的を見つめ直す。

初年度は、各専門部の活動の記録（写真、映像、データ等）を蓄積することで、PTA組織、各部の活動内容とその目的を振り返る。

2年目は、各専門部ごとに役員と教師で活動のメリット、デメリットを洗い出すことで、今後の在り方を探る。

(2) 研究主題に関する意識調査を実施することで、現状と課題を探る。

6 研究の経過

平成29年度

- 5月 栃木県PTA連合会にて、研究PTAの研究委嘱を受諾
研究計画の立案
- 7月 PTA総務会において、研究の概要を話し合う。
- 5月～12月：各部の活動の目的と活動を見つめる。それぞれの様子を撮影する。

平成30年度

- 5月 PTA総務会において、研究内容を確認し、再検討を行う。
各部会における実践
- 7月 那須地区PTA指導者研修会において、前年度からの研究の中間発表を行う。
- 10月 総務会においてPTA紀要の構想立案
紀要作成開始
- 11月 アンケートの実施及び集計
- 12月 アンケートの考察
紀要の編集

各部の活動の目的と活動

総務部：保護者と教師の協力体制をつくる

保護者の側からは教育の問題やPTA活動について学校に依存する傾向が見られる。また、学校側や教師方にも、多少閉鎖的な慣行や雰囲気があって、学校の抱える課題や現状を地域に知らせることが少ない……などの不安感をもつ保護者が存在することも事実である。しかし保護者は家庭教育の責任者であり、教師は学校教育の専門家と言える。相互に研鑽する関係性の構築が初めの一歩となる。総務部は、その保護者と教師の架け橋の要であると言える。

広報部：学校教育の理解による「共育」をめざす

子どもたちが通う学校の教育方針、重点目標、具体的方法等を十分理解することによって、それぞれの家庭において学校教育に協力することができ、家庭教育の効果を上げること、つまり共に育む「共育」ができる。広報部では、学校教育の理解を深めるために情報を発信する。

研修部：家庭教育の危機を救うための情報交換・提供の場

各種調査でも明らかだが、最近の保護者は家庭教育に自信を失い、子どもに対する成長実感も少なくなっている傾向が見られる。社会環境の急激な変化にどう対応したらよいか迷っている保護者の存在や家庭の行うべきしつけを学校に押しつけたり、過保護・過干渉に流されたりする現象などを的確にとらえ、家庭教育にはどのような手立てが必要なのかを考える機会が重要である。そのための家庭教育に関する研修会、講演会、自主研修等を企画・立案し、行うこと、そして参加することがとても大切になる。研修部は、保護者同士情報交換の場を設定する。

環境美化部：事業部：校外指導部・・・校外の生活指導と教育環境の改善をめざす、そして子どもたちへ還元する：共育

PTAは、校外における児童生徒の生活安全を確保するため、遊び場の確保などの外部環境への要望、地域住民同士の明るい人間関係の醸成等の役割が期待されている。さらに、学校週5日制のなかで、地域の教育力を充実させるための地域に根ざした多様な地域活動にPTAが積極的に関わることも大切となる。これらの部会は、学校、保護者、地域を結ぶ活動を展開している。

学年部：会員相互の学習機会を設ける

親と教師が「子どもの幸せを願い、子どもの幸せを図る」ためにも、情報交換の機会や講演などの研修機会など、今の教育課題をとらえて、PTAは会員に対して教育的素材と学習の機会を豊富に用意することが大切になる。学年部では、子どもたちへの読み聞かせ、心肺蘇生法講習会、親子レクリエーションなどを通し、保護者の相互理解、情報交換の場、親子の絆、保護者と教師の絆を結ぶ場を設定している。

Ⅲ 研究の実際



III 研究の実際

1 総務部

PTA 組織の中核を担う総務部は、PTA 活動の計画・立案・運営だけでなく、全ての活動に携わる主体的・活動的な組織である。学年部会の相談役、各実行部の顧問としてのサポート等、補助的役割も果たしている。

総務部活動（平成30年度）

月	日	内 容
3	1	・実行部会
	7	・総務会 1
4	12	・総務会 2
	12	・理事会（総会準備）
	12	・学年正副部長会議・総会資料の作成
	18	・PTA総会
	20	・PTA歓送迎会 大田原温泉
5	9	・総務会 3
	14	・市PTA協議会総会
	15	・那須地区PTA協議会総会
	21	・大田原地区PTA補導連絡協議会総会
	25	・運動会会場準備
	26	・運動会協力
	31	・第1回市PTA常任理事会
6	4	・県PTA連合会定期総会
	6	・総務会 4
	14	・那須地区人権教育指導者一般研修
	22	・那須地区PTA会長・校長研修会
	30	・大田原市青少年健全育成市民大会
7	5	・大田原地区PTA補導連絡 協議会
	26	・地区PTA指導者研修1（研究発表）
8		
9	3	・あいさつ運動（～5日）
	12	・総務会 5
10	17	・総務会 6
11	5	・あいさつ運動（～7日）
	8	・子育てセミナー
	13	・第2回市PTA常任理事会
	24	・とちぎ教育振興大会
12	5	・総務会 7
	12	・教育講演会（若中）
	18	・大田原地区補導連絡協議会
1	9	・総務会 8
	16	・理事会2・選考委員会
	18	・市PTA協議会研修会
2	11	・生涯学習フォーラム
	13	・総務会 9
	18	・那須地区PTA協議会役員会
	19	・第3回市PTA常任理事会
	20	・もちつき協力
	21	・総務会 10・理事会 3
3	1	・新地区実行部会
	6	・監事会・第1回総務会

2 実行部

(1) 広報部

PTA活動や学校生活・行事に関する会報を、年2回学校広報誌「しろやま」として定期的に発行している。

①新聞の企画・作成

部長、副部長、担当教員が参加し、新聞作成の骨組みとなる割付けやレイアウトを決める作業を行う。その後、どのような記事を掲載するか、発行時期に合わせ、学校全体の行事や学年部の行事、専門部の行事等を入れるようにしている。

また、読み聞かせやしおりの会などいろいろなPTAの活動の取り組みを保護者に知らせることで参加や協力しやすい雰囲気をつくれるような記事作りに努めている。



＜新聞の企画・作成の様子＞

②原稿依頼

記事の内容に合わせて原稿を依頼する。先生方の紹介やあいさつ、行事に参加した子どもたちやPTA会員の感想等を掲載している。

③写真選び

学校行事や学年部の行事の記事に合わせて写真を掲載する。その写真撮影を各学年の広報部員にお願いしている。子どもたちの生き生きとした姿を追求すべく、その瞬間をおさめるために、行事のたびにたくさんの写真を撮影している。「どの写真を載せるか」と検討を重ねて悩むこともあるが、読んでくださる方たちの笑顔を想像すると、制作側も楽しみながらがんばることができる。



＜写真選びの様子＞



＜記事に合わせて検討する＞

④校正

印刷所に依頼し、出来上がった新聞の校正作業を部長、副部長、担当教員が行う。新聞発行まであとわずか。少しでも記事に関心をもって、見てもらえたらいいなという思いで仕上げに取りかかっている。今後もPTA活動を積極的に知らせていく。



＜最後の作業に力を注ぐ＞

(2) 事業部

○目的…PTA主体の事業を企画運営することで、本校PTAの活動を補助するとともに、会員同士の親睦を深めることを目的とする。

○主な活動…運動会協力 (5 / 26)

ペットボトル回収 (6 / 16)

PTAソフトバレーボール大会 (11 / 10)

①運動会協力



【テント設置と万国旗準備】

運動会の準備・後片付けと当日の児童係の補助を行った。前日の会場準備は、テント設営、テーブル、いす並べ、各種看板の設置、トラック、フィールド、児童席のライン引き、万国旗、その他旗の準備と設置を行った。各学年の事業部に分かれての活動になった。

②ペットボトル回収

学区内の自治会を中心にしてペットボトルを回収し、それを学校に集約した上で、市のクリーンセンターに搬入し、その益金をPTA活動に資する事を目的とする。事業部員は、学校に集まったペットボトル回収袋をトラックに積み直して、クリーンセンターまで搬入した。



【各育成会からの回収袋】



【トラックに積み直す】



【クリーンセンターへ】

③PTAソフトバレーボール大会

全学年クラス対抗によるソフトバレーボール大会を実施した。PTA会員の健康の維持増進と親睦を図り、会員同士の融和と親睦を図ることを目的として行った。各クラス単位でチームを編成し、19チームがABコートに分かれて試合を実施した。事業部員は、会場準備と各コートの記録の係を行った。



【開会式】



【熱戦の様子】



【優勝チーム】

(3) 研修部

家庭教育学級の部員として「健康・教養・趣味」「移動教室」などをテーマとした活動に参加している。また、体育着やシューズなどのリサイクルを呼びかけ、運動会当日の昼休み時に「運動着リサイクルバザー」を開催し、児童の活動資金にしている。

①運動着リサイクルバザー

保護者に運動着等のリサイクルを事前に知らせて集めておく。前日に品物の状態を確認して値札をつけて、陳列する。

運動会当日は、部員が分担して販売にあたる。



＜品物の状態を見ながらの値札付け＞



＜サイズごとの陳列＞

②移動教室の様子

本年度は、10月初旬に福島県下郷町大内宿とブリティッシュヒルズ方面を訪れた。

紅葉が始まった「塔のへつり」、長ネギを箸代わりで食べる「ネギそば」、ハリーポッターの世界を彷彿させる「ブリティッシュヒルズ」を視察した。



＜初秋の塔のへつり＞

奇岩の連なる「塔のへつり」は、国の天然記念物に指定されている。紅葉の始まった絶景を堪能した。



＜大内宿＞

古民家での昼食。箸代わりネギを薬味に舌鼓を打った。



＜ブリティッシュヒルズ＞

数百人が一堂に会せる大食堂。内装や家具、インテリアなどに圧巻だった。

(4) 環境美化部

①運動会一品バザーの取組について

地域住民にバザー品の出品協力を依頼。地区委員を通してバザー品を回収し、運動会当日の昼休みにバザー品の販売を行っている。

○前日の準備

運動会準備が一段落する頃をねらい、部員が集合。地区委員が回収したバザー品を受け取り、販売のための陳列、商品の値付け等を行う。

作業に参加した部員には、運動会当日の駐車券を配布し、近場に駐車できるような優遇措置も取り入れている。2年間で出席率は約94%であった。

○当日の販売

運動会の昼休みを使用し、バザー品の販売を行っている。例年、運動会の午後の部最初の演技が4・5・6年生の鼓笛ドリルになっている。そのため、昼休みを前半後半の2部構成にし、4～6年生の保護者が鼓笛ドリルを観覧することができるよう工夫をしている。2年間で出席率は約100%であった。

バザーの様子を見て、売れ残りそうな商品は、環境美化部長を中心に価格を安くしたり、商品を組み合わせしてお買い得にしたりして、販売を促進している。売上金は学校備品の購入の補助に充てられる。



②奉仕作業について

児童の生活環境の改善を目的に年に2回開催している。活動内容は基本的に清掃活動であるが、その時々に応じてペンキ塗りや駐車場整備等状況に応じた活動を盛り込んでいる。

保護者へは年度当初に活動参加を呼びかけ、2回開催の活動の少なくとも一方には出るように協力依頼をしている。中にはどちらも参加してくれる家庭もあるが、反面、どちらにも参加しない家庭があるのも事実である。

本校では、参加できなかった保護者に対して別の日に都合をつけて必ず奉仕作業をしてもらうといった対応はとっていない。



③ベルマーク回収について

各家庭にベルマーク回収の協力を依頼。ベルマーク委員会の児童が準備した封筒を使って学校で回収し、委員会活動、及び環境美化部の活動でベルマークの整理に当たっている。ベルマーク研修会での通達を受け、ベルマーク番号毎にベルマークを分類したり、番号毎の枚数を数えて合計点数を計算して発送手続きを行っている。

また、使用済みのプリンターカートリッジの回収も行っており、カートリッジの個数を数えたり、段ボールに詰め込んだりして発送手続きを行っている。

夕方から夜間の活動であり、子ども同伴で活動に参加している部員も多い。親子で一緒に活動したり、子ども同士で遊んでいたりと、作業場は和やかな環境で活動している。



④環境美化部の今後の在り方について

アンケート結果より、環境美化部としては学校、地域の住民が協力して活動ができていること、全ての事業が学校に貢献できることとして、部員の大半が子どものために思い、活動していることが分かった。時間の検討等、さらに部員が活動しやすい環境を追求することで、自主的、積極的に活動が展開されることが期待できる。



3 地区部

大田原小学校地区を20の地区に分け、それぞれに地区委員会、校外指導部をおき、各地区より選出された委員、部員によって構成している。地区委員は、地区内会員への諸連絡を担当している。校外指導部は、児童の校外生活の指導と安全に関する活動をしている。

(1) 地区委員

本校では運動会で一品バザーを行っている。主催は環境美化部であるが、バザー品目の回収・搬入を各地区委員が行っている。各家庭に一品バザーの協力をお願いし、回収し学校へ搬入している。

また、事業部主催で行われているペットボトルの回収の協力も行っている。各家庭にペットボトル回収の日時や方法等を知らせ、各家庭を回り回収を行い、学校へ搬入している。



運動会 一品バザー品目回収



ペットボトル回収の様子

(2) 校外指導部

大田原市交通安全母の会では、交通安全運動として4月から10月までの毎月8日を「8の日街頭指導」としている。校外指導部でも、この「8の日街頭指導」と合わせて、学区内の主要交差点に立ち、児童の交通安全を広く喚起した。

校外指導部員は、大田原地区PTA補導連絡協議会で行っている「友愛パトロール」と「あさか交番連絡協議会との合同パトロール」にも参加した。

友愛パトロールでは、大田原小学校区で行われた「与一祭り」で児童の安全確保のため、見回りを実施した。グループに分かれ、児童を見かけたときには声をかけ、非行防止に努めた。また、合同パトロールでは、交番の方と一緒に市内をパトロールし、声をかけることにより、児童の非行や交通事故等を未然に防止し、青少年の健全育成を図っている。この合同パトロールは、取り締まりが目的ではなく、健全育成を目的とした活動で、学校と地域社会、関係機関が密接な連携を保ち、指導に当たっている。



校外指導の様子



合同パトロールの様子

4 学年部

学年部長・副部長がそれぞれの活動の実行委員と連携しながら、計画的に活動を進めている。

幸い本校には大きな強みがある。地域連携教員を中核として、学校コーディネーターとの効果的な連絡調整が円滑に機能している。その情報を学校と学年部とが共有して計画した結果、学年部の事業においても、様々な外部団体や地域の人材・行事等の豊かなリソースを、十分に活用した活動を展開することができているのは、本校の大きな強み＝特色といえよう。

また、学年部の事業は、他の事業に比べると、子どもたちやその保護者との「かかわり」や「つながり」が多いことも特色となっている。事業に参加することで「楽しみながら学ぶ」ことや「つながることの喜び」を感じられる有意義な機会にもなっている。会員相互の学習機会を設けることも、大きなねらいの一つになっていると考えている。

本研究においては、子どもたちの活躍を中心にして、保護者と教員とが、具体的な行事を通して、直接的に「かかわり」「つながり」を意識できる活動を目指して取り組んでいる。その活動には、保護者の相互理解、情報交換の場、親子の絆、保護者と教師の絆を結ぶことを可能にするための具体的な場の設定や工夫・配慮を施している。本研究のテーマ「楽しいPTA活動」を具現化する活動の代表的なもののひとつともとらえられ、子どもたち、保護者、教員とが「笑顔」でつながることのできる機会である。その取組みと成果の一端を、各学年部の実践例をあげて、以下に紹介する。

1年 家庭教育学級

本校では、大田原市東地区公民館と協力し、年8回の家庭教育学級を行っている。1年生は全員会員となるので、入学式の後に家庭教育学級の入校式が行われた。今年は、1年生と他学年からの申し込み者、研修部部員の159名が会員となった。

1学年親子による「親子でキンボール」「クワガタの飼育教室」、「親子でデコレーションケーキ作り」「消しゴム版画作り」などの活動が行われた。

「親子でデコレーションケーキ作り」は特に人気がある。地元で有名な「松月」の職人を講師に迎え、親子で楽しくデコレーションケーキ作りを行った。

親子での活動が多く行われるので、親子の絆が深まり、とてもよい活動になっている。



＜親子でデコレーションケーキ作りの様子＞

2 年 学年部による給食試食会

6月29日（金）の親子レクリエーションの後に4年生教室を借りて給食試食会を行った。メニューは「ご飯・牛乳・ハッシュドビーフ・トマトオムレツ・花野菜サラダ」であった。配膳も片付けも児童と保護者で協力して行った。児童と保護者が向かい合って和気あいあいと話をしながら食べる給食は一段と美味しかったようで、あちこちから「美味しいね」という声が聞こえた。体育館で運動した後だったということもあり、どのクラスもほとんど完食した。児童の普段の給食の様子を見たり、給食を食べたりする機会はあまりないので、給食試食会は保護者からとても評判が良い。「自校給食は温かいまま食べられていい」「栄養バランスを考えた献立でありがたい」「家で食べない野菜も残さず食べてくれて嬉しい」等の感想が聞こえた。食に対する関心を高めていただくのにとても良い活動であったと考えられる。



＜給食試食会＞



＜給食試食会の様子＞



＜親子で給食＞

3 年 心肺蘇生法講習会

6月14日（木）の親子レクリエーションの前に体育館にて心肺蘇生法講習会を行った。本校では、夏休みのプール監視当番が3年生なので、毎年6月に、那須地区消防署に依頼して講習会を行っている。親子レクリエーションの日にあたることで、多くの保護者に参加してもらった。1時間の講習だが、2班に分かれ、人形を使って心臓マッサージや人工呼吸など、蘇生の仕方を学ぶことができた。特に大人用のAEDを子どもにセットする方法の話では、実際に人形に試してみる保護者が見られた。最後の質疑応答では、多くの保護者が消防署員に質問していた。真剣に取り組む保護者の姿に今回の講習会の成果が現れたと感じた。



＜心肺蘇生法講習会＞



＜心肺蘇生法講習会後の親子レク＞

4年 学年部支援によるよさこいソーラン演舞発表

4年生は、毎年運動会でよさこいソーランを演舞している。動きを合わせて、力強く踊る姿を見せてくれる。その勇姿を学校外でも披露する機会のサポートを学年部で行っている。機会は2回、8月に行われる「与一まつり」と10月に行われる「ふれあいまつり」である。それぞれ外部団体主催の祭りなので、事務局との連絡・調整を担っている。当日に向けての練習計画や当日の流れを数度にわたって話し合い、子どもたちがベストコンディションで踊れるように支援している。演舞終了後には、子どもたちへのご褒美として、かき氷などの提供をしている。



< 運動会 >



< 与一まつり >



< ふれあい広場 >

5年 親子レクリエーション

毎年、実施内容を変えながら行われている「親子レクリエーション」ではあるが、5学年では「ふれあいの丘宿泊学習」の最終日に、学年部会主催で「学級対抗 親子キンボール大会」を実施した。市の体育部や地域コーディネーターにも協力をいただき、正しく安全な実施を可能にした。レクリエーションを通して心身の活性を高め、親と子、親と親、親と教師のコミュニケーションを促進するという効果がある。お互いをよく知らない保護者同士もいるが、レクリエーション活動に参加することで、笑顔の中自然とコミュニケーションを交わす姿が見られた。

親と親の交流の機会が減っている中で、毎年行われる「親子レクリエーション」は、貴重な時間であった。



< ニュースポーツ体験 >

6年 学年部による読み聞かせ

金曜日を「読み聞かせの日」と位置づけて、各学年学級の児童を対象に、朝の活動の時間を利用して、PTA各学年部の協力できる方を募って、本の読み聞かせを実施いただいている。小学生の興味・関心をもちやすい内容ばかりではなく、季節や時事問題に関することなど、子ども目線に立って、本を選んでいただけていて、楽しく和やかな時間を演出いただいている。また、担当してくださった方々が読み聞かせ終了後に「読み聞かせノート」を利用して、読んだ本の名前だけでなく、子どもたちの反応や読んだ保護者の方々の所感なども記録いただいている。この6年間綴られるノートは、次の機会への引き継ぎという役割だけでなく、児童と保護者とをつなぐ心の成長の軌跡・記録にもなっている。



<各教室での読み聞かせと児童の様子>

特別支援学級（あおば・つばさ） PTA総務との餅つき

毎年、2月末にあおば・つばさ学級のお楽しみ会として餅つきをしている。PTA総務にお手伝いをいただき、児童一人あたり10回程度ついている。ふらつきながらも臼と杵で餅をつくことは児童にとってよい経験で、ほほえましい姿である。つきあがった餅は、きなこ餅とあんこ餅にして、その場でおいしくいただいている。このもちつきには、来年度あおば・つばさに入級する児童や来入児も招待している。昨年度は、在籍児童の保護者が若草中学校のPTA会長でもあったので、小中一貫を推進している2校のPTA会長さんに餅つきを手伝っていただいたことになる。毎年餅を返してくれる副会長さんは、行事などで地域で会うと、お互いに手を振って挨拶する親しい仲である。PTA総務が特別支援学級の児童と一緒に餅つきをすることは、保護者の特別支援教育の理解を進める役割も果たしている。最後の記念写真は、来年度のあおば・つばさ学級作成のカレンダーの表紙になり、PTAの総務にもプレゼントされている。



<ある程度までできあがったら児童の番>

<一緒に餅つき>

<記念写真（カレンダーの表紙）>

5 ボランティア活動（しおりの会）

定期的な活動は、月に1回2時間ほど。図書室の環境整備を中心に活動している。

また、年2回の校内読書週間において、読み聞かせやしおり作りなど、子供たちと関わりながら、読書の楽しさを伝える活動を行っている。

今年度のメンバーは、卒業生の保護者や地域ボランティアも含め22名である。年1回のブラックパネルシアターは子供たちに大人気の活動である。

（1）図書室の環境整備

本校児童の図書室利用率は高い。多くの良書や児童の興味関心の高い本を集めるにあたり、しおりの会の意見を参考にしている。

また、多くの児童が手に取る図書は、傷みも早い。年度初めに大田原図書館の職員から補修の仕方を研修して学び、随時補修を行っている。

寄贈本のブックカバーかけや図書登録の作業も、本校図書館司書と協力して行っている。



図書の補修



図書の選定

（2）読書の楽しさを伝える活動

年2回の校内読書週間において、児童へ向けて読書の楽しさを伝えている。前期では6月にパネルシアターとしおり作りを行った。後期では11月にブラックパネルシアターを行った。また、しおりの会便りの発行も随時行っている。



読書週間のパネルシアター



ブラックパネルシアター



ブラックパネルシアター



しおり作り



しおり作り

（3）研修参加

読書ボランティア指導者養成講座等へ積極的に参加して、読み聞かせや選書について自主研修をしている。今年度は6名が参加した。

6 P T A 活動と地域連携活動

「地域の子どもは、地域で育てる」ことが重要視されてきている。学校・P T A・地域が連携しながら子どもたちとともに活動したり、様子を見守ったりすることで未来を担える子どもが育っていくと考える。学校・P T A・地域が連携した多くの活動の中から、地域のよさを伝え、地域に愛着と誇りをもたせる学習支援活動、地域で活躍する児童を支援する活動の取組をいくつか御紹介する。

(1) 夏季休業中のサポートデー

夏季休業中、1年生から4年生を対象に、2日間サポートデーを実施している。ここでは、子どもたちの学習支援と地域の方からの習字、英語、工作、絵画の支援を行っている。地域の方は、元本校PTAである。



＜習字講座＞



＜手芸講座＞



＜英語講座＞

(2) 6年生「総合的な学習の時間」支援

6年生の総合的な学習の時間では、自分自身を見つめる活動の中で、地元で活躍する先輩とふれあう活動「ようこそ先輩」が実施されている。本年度は、消防士、幼稚園園長を招き、それぞれのプロの話に耳を傾けた。先輩方は、元本校P T A、現P T Aである。



＜消防署の方の話＞



＜幼稚園園長の話＞



＜「スズキサイクル」 鈴木さんの話＞

（３）ブラスバンド部、和太鼓クラブ演奏支援

本校のブラスバンド部、太鼓クラブは、コミュニティの行事（社会福祉協議会主催のふれあい広場や、地区公民館行事）での出演依頼が毎年ある。地域の方々は、児童の活躍する姿を楽しみにし、多くの拍手をいただいている。



＜ブラスバンド部・和太鼓クラブへの支援＞

（４）本校児童と若草中学校＆ＰＴＡ役員との「あいさつ運動」

小学校と中学校の連携により、「明るく元気なあいさつができる児童の育成」を目指し、毎月の初め３日間「あいさつ運動」を実施している。年度途中から、ＰＴＡ総務部役員も一緒に運動を実施してきた。始めは、恥ずかしいのか控えめなあいさつを交わし合っていたが、ＰＴＡ役員の明るく強いあいさつに力をもらい、笑顔であいさつを交わし合えるようになってきている。



＜ＰＴＡ、中学生、本校児童によるあいさつ運動＞



おわりに

本校ＰＴＡは、地域と密接な連携を築き、児童のために学校の教育活動を充実させていることが分かった。また、保護者もＰＴＡ役員・委員を経験した後に地域活動、ボランティアに加入したり、コミュニティで活躍したりと、地域とのつながりを深めている。本校の地域連携コーディネーターは、本校ＰＴＡ ＯＢ、ＯＧである。熱心に地域連携活動に取り組まれている方の話をうかがうと、「この地域では、地域に戻り、地域のために活動できて一人前と受け止められることがある。だから、地域のために活動している。」とのことであった。今後も、学校、家庭・地域の連携を深め、地域を愛し、地域に誇りをもつ心豊かな子どもたちの健全育成のためにそれぞれの活動を活性化されることが望まれる。

平成30年11月2日

保護者の皆様へ

大田原市立大田原小学校PTA会長 植田 賢司

平成30年度PTA活動に関するアンケート協力をお願い

日ごろより、本校PTA活動に御理解・御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本校は、昨年度と本年度の2年間、栃木県PTA連合会からの「研究PTA」の指定を受け、「みんな笑顔～楽しいPTA活動～」を研究主題とし、研究しています。

研究主題設定の理由は下記のとおりです。PTA活動の現状と課題を探り、PTA活動の本来の目的を見つめ直すことを目的としてアンケート調査を実施いたします。御協力いただけますようお願い申し上げます。お忙しいところ申し訳ありませんが、裏面のアンケート用紙に御記入の上、お子様を通して、学級担任へ11月12日（月）までに御提出くださいますようお願いいたします。

研究主題設定の理由

「PTA」とは、「Parent-Teacher Association」です。この名称の示すとおり、PTAは、「親と教師で構成され、両者が対等の立場で学習し、自己を高めていく団体」です。

現在、社会構造の変化に伴い、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化してきています。情報の高度化、多量化、少子化等の面で大きく変化し、一方で家庭や人と人の結びつきの強かった地域社会の教育力の低下が指摘されています。その社会の中で、子どもたちの安全を守る、学校と地域がともに子どもを育むという観点から、学校と家庭、地域社会を結ぶ架け橋として、PTA活動への期待が大きくなってきています。子どもたちを健全に育むためには、PTA活動の一層の活性化が不可欠です。

しかし、PTAの目的が不明、活動の段階で発生する、物理的な負荷や、多忙の中での活動の難しさ等、PTA活動の課題が山積みしてきています。

そこで、昭和23年からすでに70年近くの歴史を誇る本校の保護者、教職員、地域社会の連携をここで改めて確認するとともに、だれもが目的をもち、意欲的に活動できるPTA活動「楽しいPTA活動」の在り方、PTA活動の未来の目的を探ることにしました。

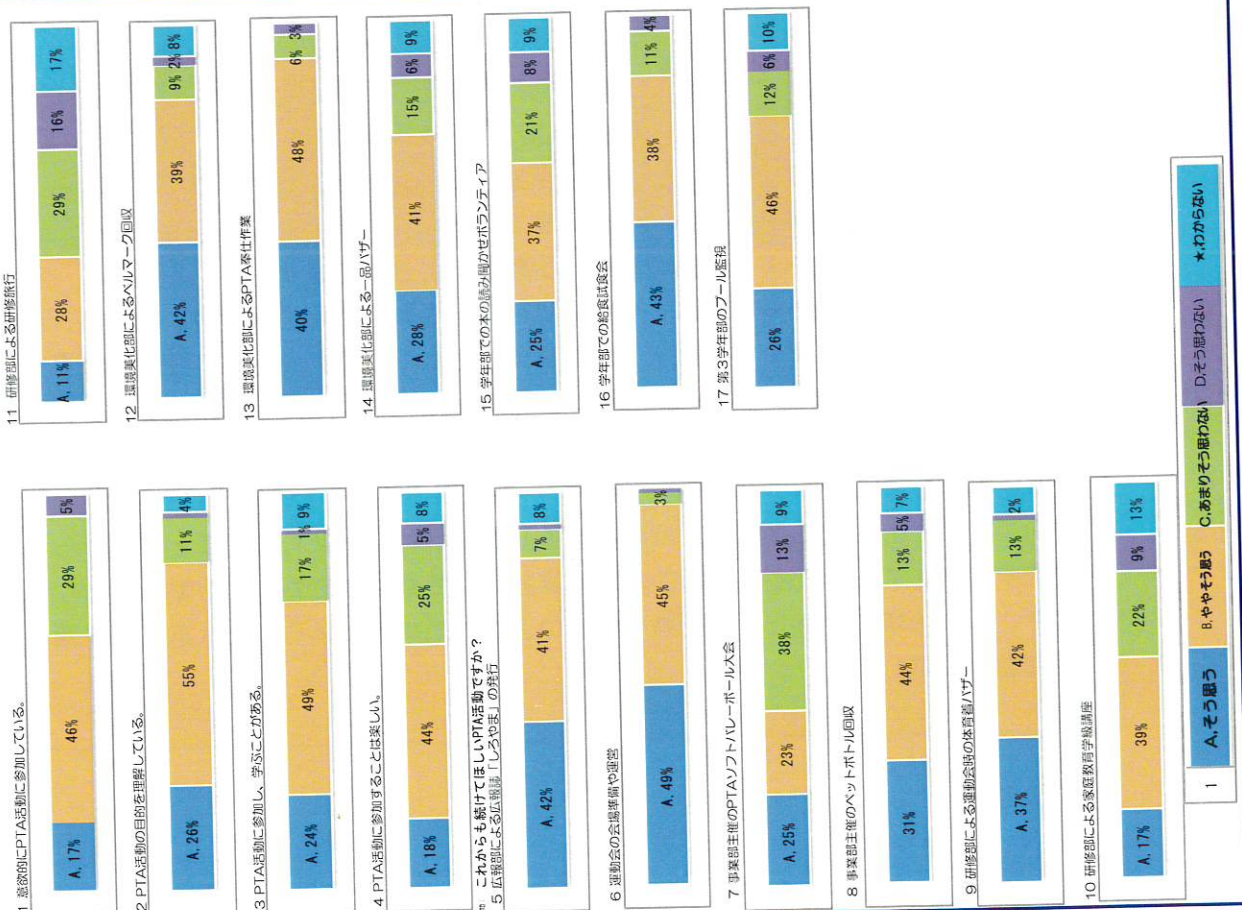
そうすることで、本校の学校運営のキーワードである「夢・礼儀・誇りそして笑顔」について、子どもたち、保護者、教職員、そして地域社会が共育することができると考えます。そして、子どもたちが、みんな笑顔の中で幸せに育ち、やがて大人になったとき、この地域で育ったことを誇りに思い、この地域を支える人となることを願い研究主題を設定しました。

平成 30 年度 PTA活動アンケート 年 組 児童氏名 ()

お子さんが複数の学年に在籍する場合、該当学年に○をつけて下さい。→1・2・3・4・5
A=そう思う B=やややと思う C=あまりやと思う D=そう思わない わからない

項 目	評 価
PTA活動への参加意識について	
1 意欲的にPTA活動に参加している。	A-B-C-D-わからない
2 PTA活動の目的を理解している。	A-B-C-D-わからない
3 PTA活動に参加し、学ぶことがある。	A-B-C-D-わからない
4 PTA活動に参加することは楽しい。	A-B-C-D-わからない
下記の活動は、これからも続けて欲しいPTA活動ですか。	
5 広報部による広報誌「しろやま」の発行	A-B-C-D-わからない
6 運動会の会場準備や運営	A-B-C-D-わからない
7 事業部主催のPTAソフトボール大会	A-B-C-D-わからない
8 事業部主催のペットボトル回収	A-B-C-D-わからない
9 研修部主催の運動会時の体育着バザー	A-B-C-D-わからない
10 研修部による家庭教育学級講座	A-B-C-D-わからない
11 研修部による研修旅行	A-B-C-D-わからない
12 環境美化部によるベルマーク回収	A-B-C-D-わからない
13 環境美化部によるPTA奉仕作業	A-B-C-D-わからない
14 環境美化部による一品バザー	A-B-C-D-わからない
15 学年部での本の読み聞かせボランティア	A-B-C-D-わからない
16 学年部での給食試食会	A-B-C-D-わからない
17 第3学年部のプール監視	A-B-C-D-わからない
PTA活動について御意見、御感想をお寄せください。どんな工夫をするとうれしいと思いますか。御意見がある方は、ぜひお聞かせください。	
PTA活動で、どんなことが楽しいですか。	

H30 PTA活動に関するアンケート まとめ集計グラフ

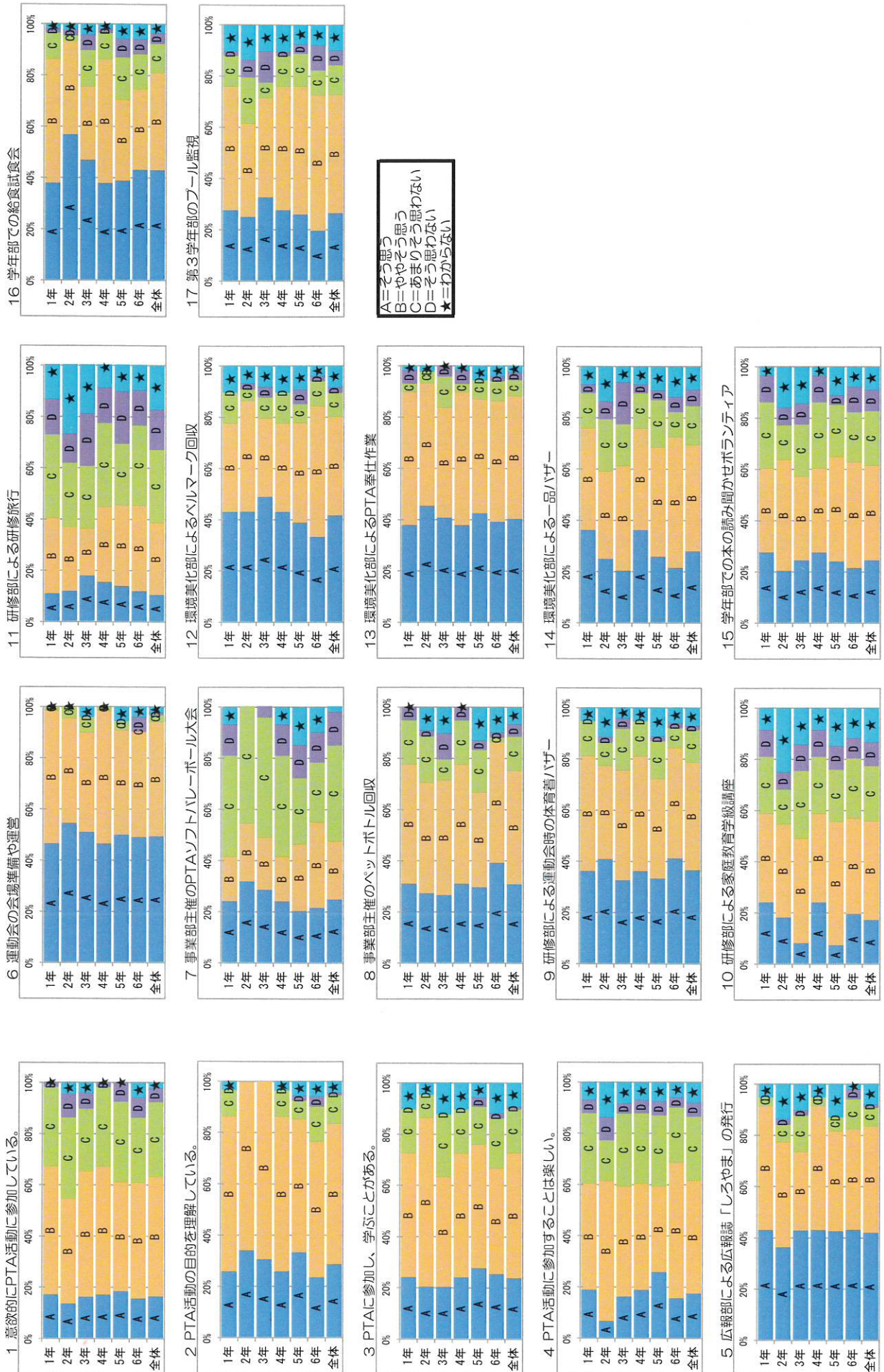


PTA活動に関するアンケート

※ 1～4の項目はPTA活動に対しての参加意識について

学年別集計グラフ

5～17の項目は「これからも続けて欲しいPTA活動かどうか」を尋ねた結果



PTA活動に関するアンケート結果及び考察

1 PTA活動への参加意識についての結果

- ① 意欲的にPTA活動に参加していると肯定的に回答する保護者は、63%である。
- ② 目的を理解していると肯定的に回答する保護者は75%であり、学ぶことがあると肯定的に回答する保護者は71%である。
- ③ PTA活動に参加することが楽しいと肯定的に回答する保護者は、62%であった。

2 PTA活動への参加意識についての考察

上記①から③の結果、そして記述での回答内容を考慮し考えられること

- ① ほとんどの保護者は、PTA活動の目的理解、学びについて理解している。
しかし、PTA活動運営、活動内容等については、課題が多くあると感じており、見直すべきと考えている保護者も多い。
保護者は、PTA活動の実践により、つながりが生まれ、情報交換ができることを楽しい、意義があると感じている。
子どもと親がともに活動する場、交流する場を望んでいる保護者が多い。
- ② 情報交換の機会や講演などの研修機会など、今の教育課題をとらえ、PTAは会員に対しての教育的素材と学習の機会を豊富に用意することが大切になってくると考えられる。

3 PTA活動に関して

- ① 今後継続するとよいと肯定的に回答する保護者が80%以上の活動は
広報誌「しろやま」の発行、運動会の準備運営、ベルマーク回収、PTA奉仕作業、給食試食会である。
- ② 今後継続するとよいと思う活動に対し、「あまりそう思わない。」「そう思わない。」と回答する保護者が40%以上の活動はPTAソフトバレーボール大会、研修部による研修旅行である。

上記①、②の結果、そして記述での回答を考慮し考えられること

- ① 保護者は、学校行事の協力、子どもたちの教育環境を整える活動に対し、協力的である。
しかし、PTAだけの活動に対しては、その活動中、子どものことをどうするかといった課題が多く、見直すべきと感じている。
- ② PTA活動は、子どもの育みに関するすべての人の参画意識、参加率が高まっていくことでその組織力が高まり、活動領域がどんどん広がる。
職業をもつ人々が参加できるような夜間や休日に活動時間を設定するなどの工夫を進める必要がある。
もちろん、個々の会員が各自の都合に合わせて柔軟に参加できる多様な活動形態の工夫をしなければならぬ。
- ③ 学校と地域と家庭は、それぞれの事情を主張しあっていれば、永遠に結びつくことはないだろう。
子どもたちの豊かな心を育むためには、家庭や地域社会で様々な体験活動の機会を子どもたちに「意図的」「計画的」に提供する必要がある。
地域やPTAが一体となって子どもたちの体験活動の充実を図る体制を整備し、大人一人一人が、それぞれの立場で子どもの問題に関心をもち、取り組める活動が期待される。

Ⅳ 研究の成果と課題



IV 成果と課題

1 成果

(1) PTA 活動の活性化

PTA 活動の参加率は高く、会員相互も連帯感をもちながら活動してきたが、今回研究 PTA の指定校としての委嘱を受けたことにより、学校の歴史やこれまでの PTA 活動を振り返ることができた。保護者として何ができるかを組織として考える機会となり、活動実践への意欲がさらに高まった。また、今の社会やこれからの社会にあった PTA 活動を考える機会ともなった。

(2) 保護者、子ども、地域との連携

PTA 活動では、子どもが参加する活動への参加意識は高いものの、会員の現状から、コミュニケーションの不足が感じられる。しかし、地域行事である昔から地に残る祭り等を大切にする姿は見られ、地域に残る行事等を守ろうとする思いや願いは感じられる。学校と地域の橋渡しを PTA が行うことで、児童が地域の一員であることに気付き、地域行事への参加が増え地域理解につながった。また、地域人材や諸活動を PTA が開発することで、取組に活かすことができた。

2 課題

(1) PTA 活動への意識の高揚

PTA 活動が一部の役員のみならず、会員だれもが目的をもち、意欲的に活動できる PTA 活動の在り方を探る必要がある。また、保護者参加型の PTA 活動、PTA 参加型の地域活動に向け、具体的な方策を立てていく必要がある。研究から得ることのできた成果を継続、発展できるように、PTA 総務部を中心に取り組んでいきたい。

(2) 時代に即した活動を目指して

インターネットの普及等、青少年を取り巻く環境は大きく変化している。情報の高度化、多様化、多量化、少子化等の面で大きく変化する一方で、社会の教育力の低下が懸念される。親同士や地域住民との関わりが希薄化する中で、保護者同士の関わりを深め、コミュニケーションの図れる関係性作りが求められる。人と人との関わりを重視した教育や地域作りは、必須である。旧来の PTA 活動のままでは立ちいなくなってきた現在、お互いの学びから、子どもたちを健全に育むためにも、PTA 活動の一層の活性化が不可欠である。

V 資料編



小中一貫教育だより

平成30年8月28日 発行：大田原市立大田原小学校 NO. 5



大小・若草中夏合同学習会

8月1日～8日までの6日間、合同学習会を実施しました。この学習会の目的は「夏季休業中に英語交流や補完学習等を行う、基礎学力等の定着及び学力の向上を目指す。」「大小・若草中・小中一貫教育の具体策として、英語教育の充実を目指す。」ということです。9日の学習会は、合同13号の影響に配慮し、残念ながら中止となりました。学習会の様子とお知らせします。

8月8日 「プロロボを動かそう」の講座では、若草中鈴木教諭と本校大高教諭により、プロロボチャートを用いてロボットを操作するという学習が行われました。小学生10名、中学生10名が、決められたルールを歩めるロボット作りで頭脳をフル回転させていました。



各講座に参加して：児童、生徒の感想

普段、体験できないことが体験できました。コンピュータで命令し、それに従って動かすことがこんなに楽しいのかと思いました。
若草中2年 Oさん

プログラミングは、スクラッチだけやりました。この講座では、他のプログラミングを体験することができました。すごく楽しい体験でした。
5年 Aさん

本校簿井教諭と矢口教諭により実験教室が行われました。科学的視点を用いながら、ある驚くものを創り上げるといふ実験です。中学生26名と小学生32名、計58名がワクワクワクワクドキドキしながら実験しました。



DNAという言葉を知りました。DNAをつくる活動が楽しかったです。
5年 Hさん

小学生と理科実験ができました。改めて小学校の先生の授業は楽しいと思いました。
若草中1年 Kさん

大田原小・小中一貫教育だより

平成30年4月18日 発行：大田原市立大田原小学校 NO. 1



平成30年度がスタートしました。大田原小学校と若草中学校では「義務教育9年間の系統性のある指導で一人一人の学力を最大限に伸ばし、進路実現を図る。」ことを目的に、小中一貫教育を推進しています。本年度も保護者の皆様にご協力いただき、具体的な取組を創設してまいります。第1号では、そのねらいと具体的な取組の組みをお知らせします。

小学校高学年における教科担任制：基本的な考え方（ねらい）

- 専門的な指導を充実させ、子供たちの学力や学習意欲の向上を図る。
- 学級担任制と教科担任制を併用して様々な教員が多面的に子供たちの成長を支えることができるようにする。
- 主体的・対話的で深い学びの実現を図る。子供たちの興味・関心に応じた学習活動を行う。
- 学年を超えて授業を担うことにより、教科の系統性に対する理解を深める。
- 来年度、指導を任せながら「自分の学年」「自分の学年」「自分の学校」という意識の醸成につなげ、チームで子供たちを育てる。
- 中学校段階での完全教科担任制にスムーズに転換しやすくなり、学校段階でのキャリアアップの機会につなげる。

教科担任制担当教科と授業者
社会生活で実際に役立つ学習や活動、特に「外国語活動」「道徳科」「学級活動」「総合的な学習の時間」の授業は、担任が子供たちに寄り添いながら授業を行い「生きる力」を育てます。

5年担任			6年担任			5年担任			6年担任			5年担任			6年担任		
担任	1組	2組	担任	1組	2組	担任	1組	2組	担任	1組	2組	担任	1組	2組	担任	1組	2組
担当	黒田	黒田	担当	黒田	黒田	担当	黒田	黒田	担当	黒田	黒田	担当	黒田	黒田	担当	黒田	黒田
教科	国語	国語	教科	国語	国語	教科	国語	国語	教科	国語	国語	教科	国語	国語	教科	国語	国語
	5年	5年		5年	5年		5年	5年		5年	5年		5年	5年		5年	5年
	家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭
	図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工
	理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科
	算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数
	英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語
	音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽
	体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育
	家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭
	図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工
	理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科
	算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数
	英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語
	音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽
	体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育
	家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭
	図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工
	理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科
	算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数
	英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語
	音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽
	体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育
	家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭
	図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工
	理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科
	算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数
	英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語
	音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽
	体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育
	家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭
	図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工
	理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科
	算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数
	英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語
	音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽
	体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育
	家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭
	図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工
	理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科
	算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数
	英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語
	音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽
	体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育
	家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭
	図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工
	理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科
	算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数
	英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語
	音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽
	体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育
	家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭
	図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工
	理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科
	算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数
	英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語
	音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽
	体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育
	家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭
	図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工
	理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科
	算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数
	英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語
	音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽
	体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育
	家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭
	図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工
	理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科
	算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数
	英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語
	音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽
	体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育
	家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭
	図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工
	理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科
	算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数
	英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語
	音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽
	体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育
	家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭
	図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工
	理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科
	算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数
	英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語
	音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽
	体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育
	家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭
	図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工
	理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科
	算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数
	英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語
	音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽
	体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育
	家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭
	図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工
	理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科
	算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数
	英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語
	音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽
	体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育
	家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭
	図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工
	理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科
	算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数
	英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語
	音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽
	体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育
	家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭
	図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工
	理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科		理科	理科
	算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数		算数	算数
	英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語		英語	英語
	音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽		音楽	音楽
	体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育		体育	体育
	家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭		家庭	家庭
	図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工		図工	図工
	理科	理科		理科	理科</												

しらべ

顯字／深澤 泉校長

創立110周年特集

発行 大田原市立大田原小学校PTA
編集 P T A 広報部

土曜日の放課後校庭で
遊ぶ子供たち
いつまでも持ちつづけ
て欲しいこの明るさ



親として
人間として

刊
刊
[刊
刊

「先生、なんで私の手」あゝあれがでましていなくて
「うなないな」
「こんな気遣ひ」さう問ひたいがな。とつてその
が医学のせいやが茶碗のバラエツのせいや。いづれに
しても私はねがひし思ひかな。何故なら……
「言葉は半分のさ。そんな意味のあなうさ……」
しらみやあかきれは日常の茶飯事であつた。
茶は事件や病、学校の事柄はなまじつめな物で
も家庭のうしろ話を聞かせるにはわけやない。二階に
下りてお校にせんかたのものだ。まあ、この二階はね
あゝあかきれのまふ世に水の音だとか早朝の井戸の音
を中づつてうろたふ水にわけなうろたふ水だ。あ
やりした水の記憶はあつていてさ。その水に三十分た
一時間たつた自然は持つていながら物理ではな
らなう。

[illegible]

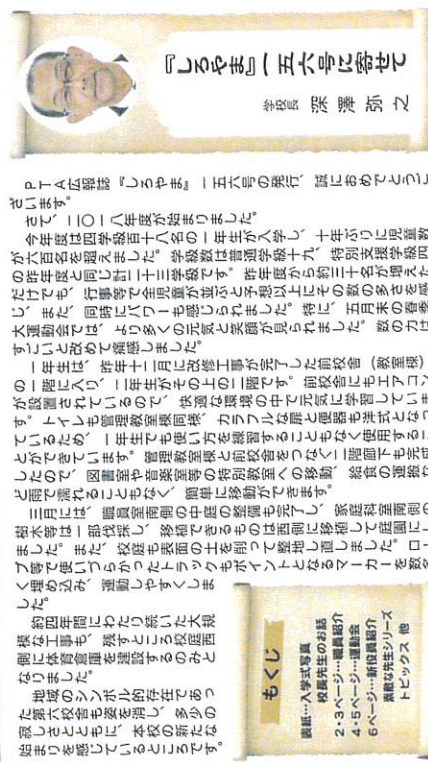
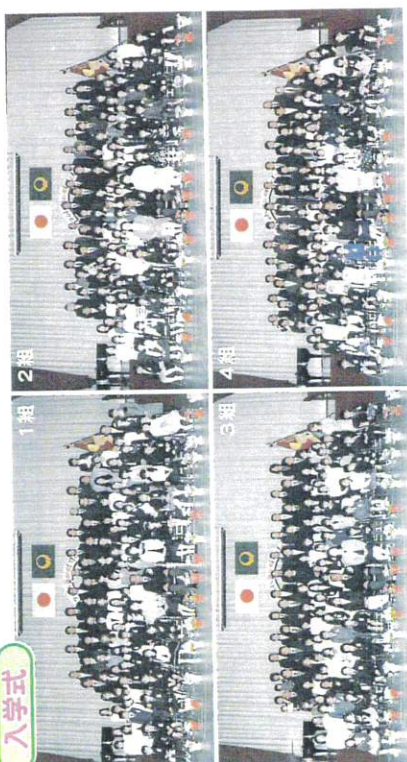
決してテレビの人気取り番組ではないし、今の私の家庭やごく近所の方々の家庭にも理に起りつつあるや起こっているといつてもよい状況なのである。学校で教育や先生がどうのと言うのではなく、私達親の自分はこの世間でどうなのだという存在そのものが失なわれているような気がしてならない。

子供達の親として、又何十万年いくつしみはくぐんで来た人間として、今、自分達はこ
の子達に対して何なのかを、体を張ってぶつ
かつてやらなければ、本当に猿の世界になる
かも知れぬ恐れがある。(平林 P)



■ 編集・PTA 広報部 ■ 児童数: 603 名 ■ PTA 会員数: 461 名 ■ 題字: 深澤弥之

世



あとがき

大田原市小学校 PTA は、栃木県 PTA 連合会から「研究 PTA」の委嘱をいただき、平成 29・30 年度の 2 年間、PTA の保護者と学校が協力して研究に取り組んでまいりました。

研究主題を「みんなが笑顔～楽しい PTA 活動～」とし、保護者、教職員、地域社会の連携を改めて確認するとともに、だれもが目的をもち、意欲的に活動できる PTA 活動のあり方、また、PTA 活動の本来の目的を探りました。その結果として、学校の歴史やこれまでの PTA 活動を振り返ることができたことは、大きな収穫となりました。保護者の立場で何ができるかを組織として考える機会となり、活動実践への意欲をさらに高めることができました。特に、総務部は各活動への関わり方に意識の変化が感じられるようになりました。その一つの事例が、新たに展開している「あいさつ運動」です。総務部の発案で若草中学校生徒会、大田原小学校 PTA 総務部・教員・児童会との「あいさつ運動」を自主的に計画し取り組むようになりました。スタートは総務部役員のみでしたが、今後は希望する保護者を招集し活動していく方針を立て動き出しています。保護者がそれぞれに PTA の一員であることを再認識し、「子どもたちのために」という思いを共有できたことが一番の成果ではないかと考えます。PTA 組織の活性化が図られたことにより、学校と保護者や地域との距離が今までより近くなり、連携を深めることができました。みんなが笑顔になる地域づくりを目指し、継続して実践していく所存です。

結びになりますが、本研究にあたり、御支援と御協力をいただきました PTA 会員の皆様に改めて感謝申し上げますとともに、御指導・御助言を賜りました関係機関の皆様に感謝申し上げます。

平成29・30年度
研究PTA研究紀要

大田原市立大田原小学校PTA

〒324-0052

栃木県大田原市城山1-4-36

TEL 0287-23-3171

FAX 0287-23-3172

E-mail ohtawara-syo@ohtawara-city.jp